

令和2～7年度 南丹市学校提案型まちづくり活動交付金 交付決定事業一覧



No.	事業名 (学校名)	事業内容	事業費	交付 決定額	年度
1	持続可能な南丹市モデルの構築に関する ワークショップの開催 (佛教大学社会学部)	園部・八木・日吉・美山のそれぞれの地域について学生 が事前調査を行い、地域課題に応じたワークショップを 開催することで、地域の活性化に貢献する。	208,150	200,000	令和 2年度
2	高校生×南丹 地域PR動画プロジェクト (京都府立大学)	市内の高等学校で学ぶ生徒が地域貢献への達成感を得る とともに、地域への理解や愛着を深めるため、地方創生 の勉強会と動画を使った情報発信の研修と実践を行う。	200,000	200,000	令和 2年度
3	東洋医学の知恵に基づく地域と大学を結ぶ 地域創生プロジェクト (明治国際医療大学)	JR日吉駅に設置しているレンタサイクルを題材に、地域 を巡るサイクリングマップを地元の観光協会と共同で作 成し、地域の活性化を目指す。	108,150	102,150	令和 2年度
4	安全・安心な草刈を通じた地域と学生の 協働まちづくりプロジェクト (明治国際医療大学)	地域における若者の労働力の維持と、災害へのしなやか な対応を目標に、草刈り作業への参加と応急手当・熱中 症対策の勉強会を実施する。	200,000	200,000	令和 3年度
5	(住民×学生)コロナ後の集落福祉を考える ワークショップ (大谷大学)	地域福祉活動の継続発展に必要な根拠資料を提示するた め、お出かけツアー利用者へのヒアリングと、社会福祉 協議会と共同のワークショップを実施する。	236,620	200,000	令和 3年度
6	南丹 高校生地域探求部 (京都府立大学)	市内の高校生が南丹市の特徴や地方創生の取組について 理解を深め関心を持つために、市職員を講師に招いた勉 強会など、大学生と共に学ぶ場を設ける。	200,000	200,000	令和 3年度
7	コロナ後の集落福祉と住民活動を考える ワークショップ (大谷大学)	地域福祉活動の継続発展に必要な根拠資料を提示するた め、住民や介護サービス従事者へのヒアリングと、社会 福祉協議会と共同のワークショップを実施する。	320,820	200,000	令和 4年度
8	総合的な交流の時間 (京都府立大学)	市内高等学校の総合的な探求の時間をレベルアップさせ るために、市内外の学校を招き地域創生をテーマにした 交流会を実施する。	200,000	200,000	令和 4年度
9	アートな草刈を通じた地域と学生の 協働のまちづくりプロジェクト (明治国際医療大学)	地域と学校の繋がりとアートで地域を活性化する ため、地域の草刈り作業と獣害対策用の柵へのフェンス アートを地域と共同で実施する。	205,000	200,000	令和 4年度
10	持続可能な地域づくりに向けた環境保全型 農業の担い手育成とネットワーク形成事業 (学校法人 龍谷大学)	少子高齢化が加速する世木地域において、環境保全・循 環型農業を開発するため、地域の農業関係者と学生が共 同で勉強会を行う。	746,432	200,000	令和 4年度
11	(住民×学生) コロナ後の集落福祉と 住民活動を考えるワークショップ (大谷大学)	地域福祉活動の継続発展に必要な根拠資料を提示するた め、昨年度に引き続きヒアリングとワークショップに加 え、休止している集落サロン活動の再開を試みる。	262,090	200,000	令和 5年度
12	総合的な交流の時間 (京都府立大学)	市内高等学校の総合的な探求の時間をレベルアップさせ るために、市内の小・中・高等学校を招いた勉強会を行 い、学校同士の縦の繋がりを促進する。	200,000	200,000	令和 5年度
13	地域と学生の"ふるさとレスキュー"を 通じた地域防災まちづくりプロジェクト (明治国際医療大学)	ふるさとレスキューの高齢化と知識不足が問題となる中 で、次世代の地域防災を担う子どもや現在のレスキュー メンバーを対象に勉強会を実施する。	200,000	200,000	令和 5年度
14	わたしたちの！はつらツアー！！ ～子供の非認知能力の向上×観光×地方創生～ (同志社大学)	自然豊かな美山において、子どもの非認知能力の育成と それを魅力とした人口流入を目指して、子どもによる地 元観光ツアーの企画をサポートする。	200,000	200,000	令和 5年度
15	南丹市紹介冊子の作成 (京都建築大学校)	学生が自分の生活圏に興味を持つことと、若者目線で南 丹の魅力をアピールし地域に貢献することを目的に、南 丹市の魅力スポットの紹介冊子を作成し配布する。	247,500	200,000	令和 5年度

※令和2年度は、南丹市まちづくり活動交付金 大学提案枠での交付決定事業です。

令和2～7年度 南丹市学校提案型まちづくり活動交付金 交付決定事業一覧



No.	事業名 (学校名)	事業内容	事業費	交付 決定額	年度
16	社会福祉施設を拠点とした地域と学生の 地域連携BCP（事業継続計画）を通じた 防災まちづくりプロジェクト (明治国際医療大学)	介護関係機関のBCP（事業継続計画）策定において、地 域住民との関係性を深めるため、社協・施設周辺住民を 対象に、BCPの見直しと図上訓練、勉強会を開催する。	200,000	200,000	令和 6年度
17	総合的な交流の時間2024 (京都府立大学)	小中高大のPBL（課題解決学習）のレベルアップを図り、 地方創生を推進するため、市内外のPBL先進事例を集めて 紹介するイベントを実施する。	200,000	200,000	令和 6年度
18	福祉施設を拠点とした地域と学生の地域連携BCP (事業継続計画)を通じたインクルーシブ 防災まちづくり（南丹市BCP）プロジェクト (明治国際医療大学)	介護関係機関のBCP（事業継続計画）策定において、地域住民 との関係性を深めるため、福祉施設・施設周辺住民を対象に、 BCPの見直しと図上訓練・勉強会を開催する。	200,000	200,000	令和 7年度
19	地域交流会 (京都中部総合医療センター看護専門学 校)	地域の高齢者の健康・交流活動の促進、看護学生のスキ ルアップを目的として、八木町南地区及び近隣住民を対 象に地域交流会を開催する。	100,000	100,000	令和 7年度
20	総合的な交流の時間2025 (京都府立大学)	小中高大のPBL（課題解決学習）の進展を図り、地方創生・デ ジタル田園都市国家構想を推進するため、市内外のPBL先進事 例を紹介するイベントやドローンイベントを実施する。	200,000	200,000	令和 7年度